

第2節 幼稚園教育を充実する

現状と課題

少子化、核家族化の進行、女性の社会参加の機会拡大など、社会情勢の変化は、就学前の子どもたちを取り巻く環境にも大きな影響を与えています。幼稚園教育は、幼児との信頼関係を築き、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園、家庭、地域社会は、その幼児期の成長を支えるために重要な役割を果たしており、それぞれが連携していくことが必要です。

幼稚園においては就学前教育としての内容の充実や幼児教育センターの教育相談体制などの充実を図るとともに、地域の子育て支援の中核となっていくことが求められています。

預かり保育については、利用する保護者のニーズを把握分析し、運営方法についても調査検討を進めていく必要があります。

また、障害のある幼児一人ひとりの就学前から学校卒業後まで一貫した支援を行う必要があります。さらに就学前教育に対する保護者ニーズが多様化するなかで、公・私立幼稚園の役割分担や多様な選択機会を増やすため、「認定こども園」の設置についての支援とともに、私学助成の充実なども必要となっています。

幼稚園園児数の推移
(各年5月1日現在) (単位:人)

区分 年	公立	私立	合計
平成11年	101	1,287	1,388
平成12年	105	1,253	1,358
平成13年	124	1,204	1,328
平成14年	104	1,271	1,375
平成15年	93	1,259	1,352
平成16年	114	1,251	1,365
平成17年	115	1,142	1,257
平成18年	113	1,150	1,263

(資料) 学校基本調査

基本方針

幼稚園における預かり保育や教育相談体制などの充実を図るとともに、幼稚園、家庭、地域社会の連携により、人間形成の基礎を培う就学前教育の充実・向上をめざします。

保護者や関係機関との連携を図り、障害のある幼児一人ひとりの教育的ニーズに応じた効果的な支援をめざします。

公・私立幼稚園の役割分担や多様な選択機会を増やすため、「認定こども園」の設置の支援や私学助成などの充実をめざします。

まちづくり指標

まちづくり指標名	説明	単位	現状値	5年後の	10年後の	めざすべき
				目標	目標	
幼児教育センター利用者数	年間幼児教育センター利用者数(親子)	人	5,586	6,200	6,700	
育児について相談できる場が整っていると感じる市民の割合	まちづくり市民アンケート結果	%	29.0 (H18)	44	59	100

主な施策の展開

(1) 人間形成の基礎を培う教育の充実・向上

幼稚園、家庭、地域社会の連携による幼稚園教育を推進し、人間形成の基礎を培う就学前教育を充実します。幼児期の特性を踏まえた教育課程を編成し、物的・人的環境などの環境を通して行う教育を基本とした指導を行います。また、幼児教育センターの教育相談体制などの充実を図るとともに、保育ニーズの多様化に対応するため、小学校との連携や預かり保育、教育相談体制の充実・向上に努めます。

(2) 子育て支援機能の充実

幼児教育センター機能の充実や遊びの広場などの活用により、地域の子育ての支援の中核となるよう努めます。

(3) 特別支援教育の充実

障害のある幼児一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画を作成し、個性や能力の伸長に努めます。また、就学前から学校卒業まで一貫した支援を行うために、幼小連携に努めます。

(4) 私学教育の振興・助成

私立幼稚園の保護者負担を軽減するため、就園奨励費の充実や健康診断の助成を行います。また、私学教育の振興を図るため、教職員研修費の助成を行います。さらに、「認定こども園」の設置の支援を行います。

市民まちづくりワークショップからの提言

市民の役割(例示)

幼稚園、家庭、地域社会の連携のもと、家庭や地域が果たすべき基本的役割について、正しく認識する。

幼稚園と家庭との連携を密にして、子どもの健やかな成長をはぐくむ。

子どもを守り育てるための地域活動などに積極的に参加する。